

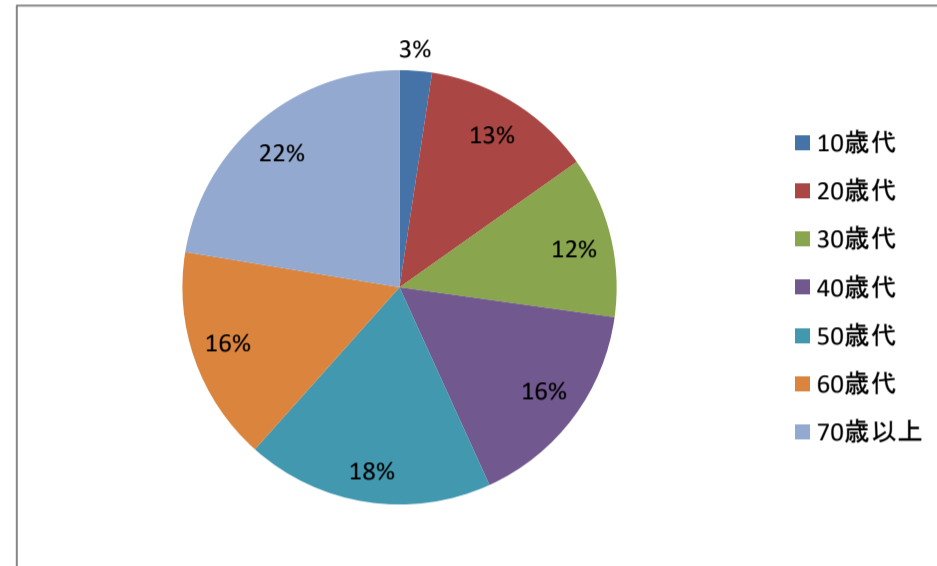
第13回 文化財や歴史文化遺産を正しく後世に継承していく方策を探るためのアンケート

【アンケート実施期間】 令和7年12月11日～令和7年12月25日

【アンケートの目的】 金沢の工芸に対する関心、使用状況等について、市民の意見等を聞き、今後の施策の参考とす ←適宜修正してください

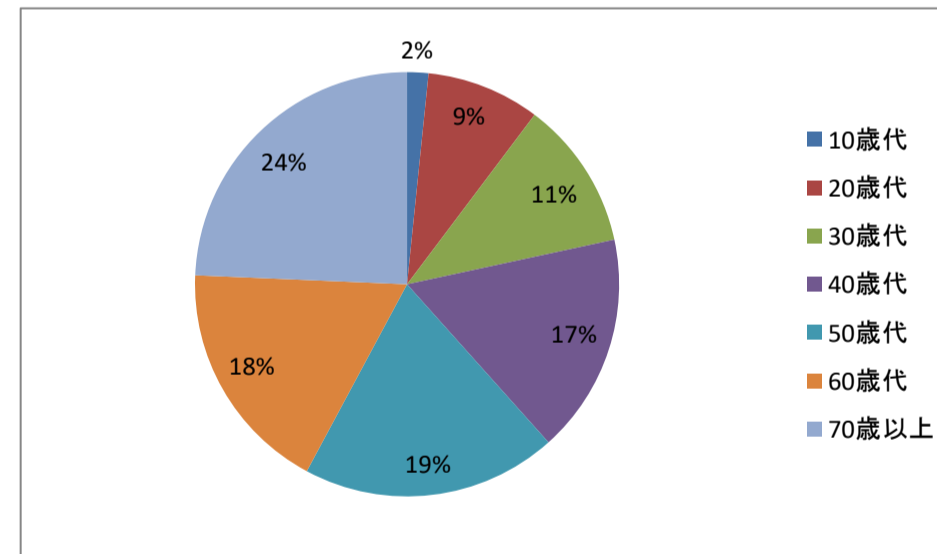
【対象者数】 250 名

内訳	人数	%
10歳代	6	2.4
20歳代	32	12.8
30歳代	30	12.0
40歳代	40	16.0
50歳代	46	18.4
60歳代	40	16.0
70歳以上	56	22.4
計	250	100.0



【回答者数】 185 名

内訳	人数	%
10歳代	3	1.6
20歳代	16	8.6
30歳代	21	11.4
40歳代	31	16.8
50歳代	36	19.5
60歳代	33	17.8
70歳以上	45	24.3
計	185	100.0

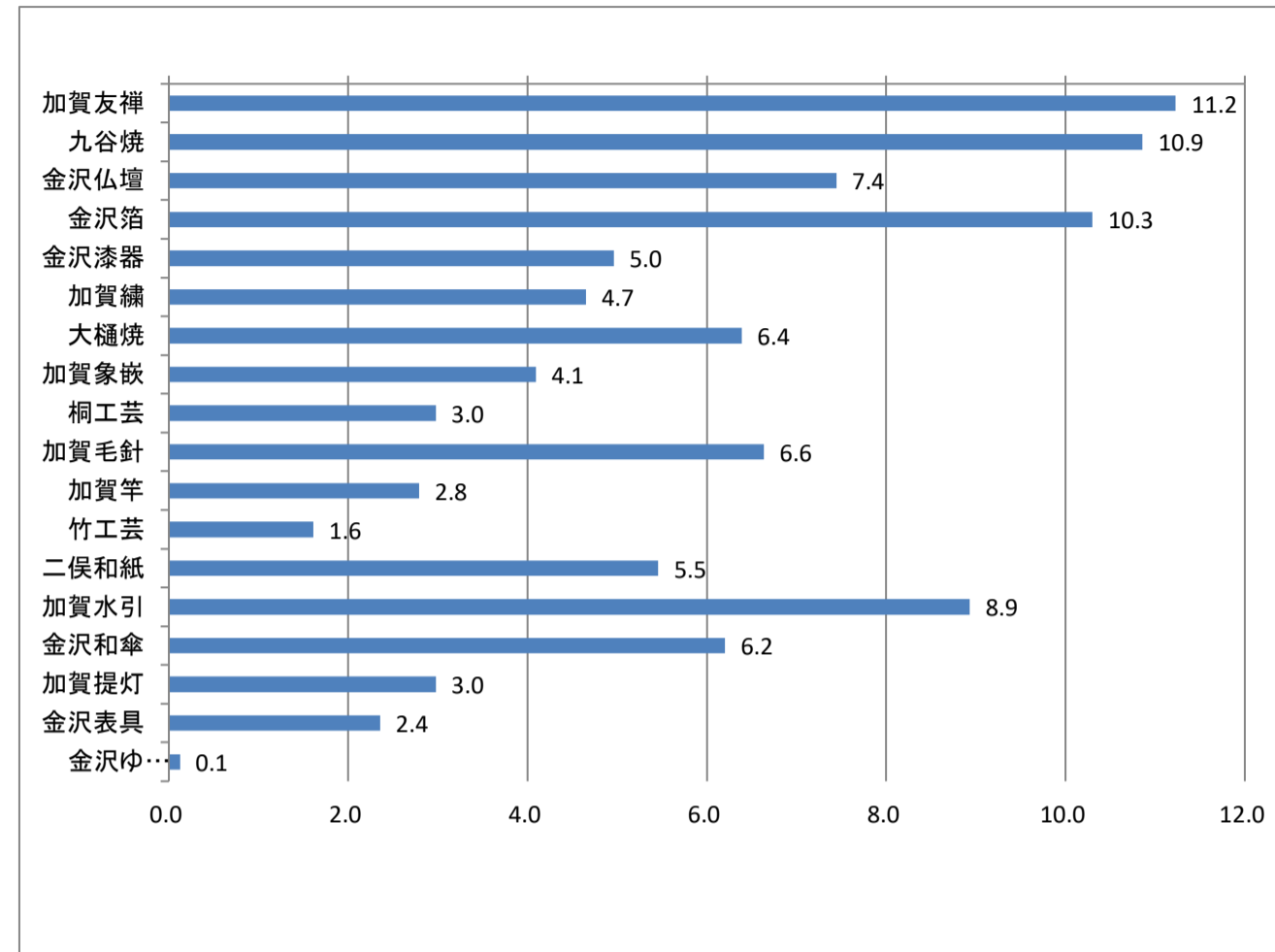


【回答率】 74.0%

問1 「金沢の工芸」で知っているものはどれですか（複数回答可）

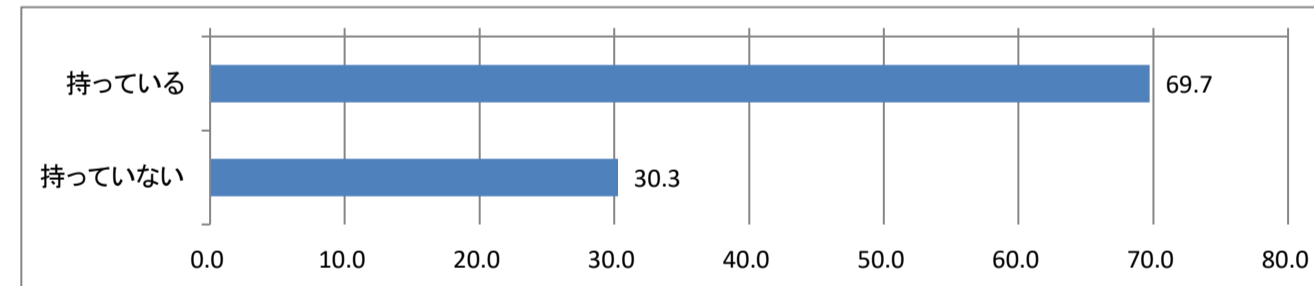
回答	人数	%
加賀友禅	181	11.2
九谷焼	175	10.9
金沢仏壇	120	7.4
金沢箔	166	10.3
金沢漆器	80	5.0
加賀繡	75	4.7
大樋焼	103	6.4
加賀象嵌	66	4.1
桐工芸	48	3.0
加賀毛針	107	6.6
加賀竿	45	2.8
竹工芸	26	1.6
二俣和紙	88	5.5
加賀水引	144	8.9
金沢和傘	100	6.2
加賀提灯	48	3.0
金沢表具	38	2.4
金沢ゆかりの作り手によるその他の	2	0.1

※その他…加賀手毬、藍染



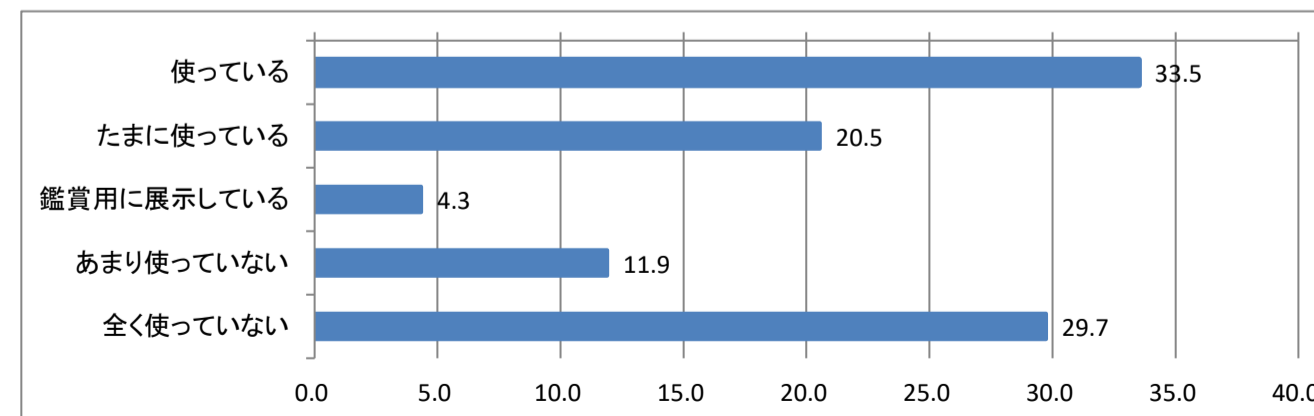
問2 金沢の工芸品をお持ちですか

回答	人数	%
持っている	129	69.7
持っていない	56	30.3



問3 日頃から金沢の工芸品を使っていますか

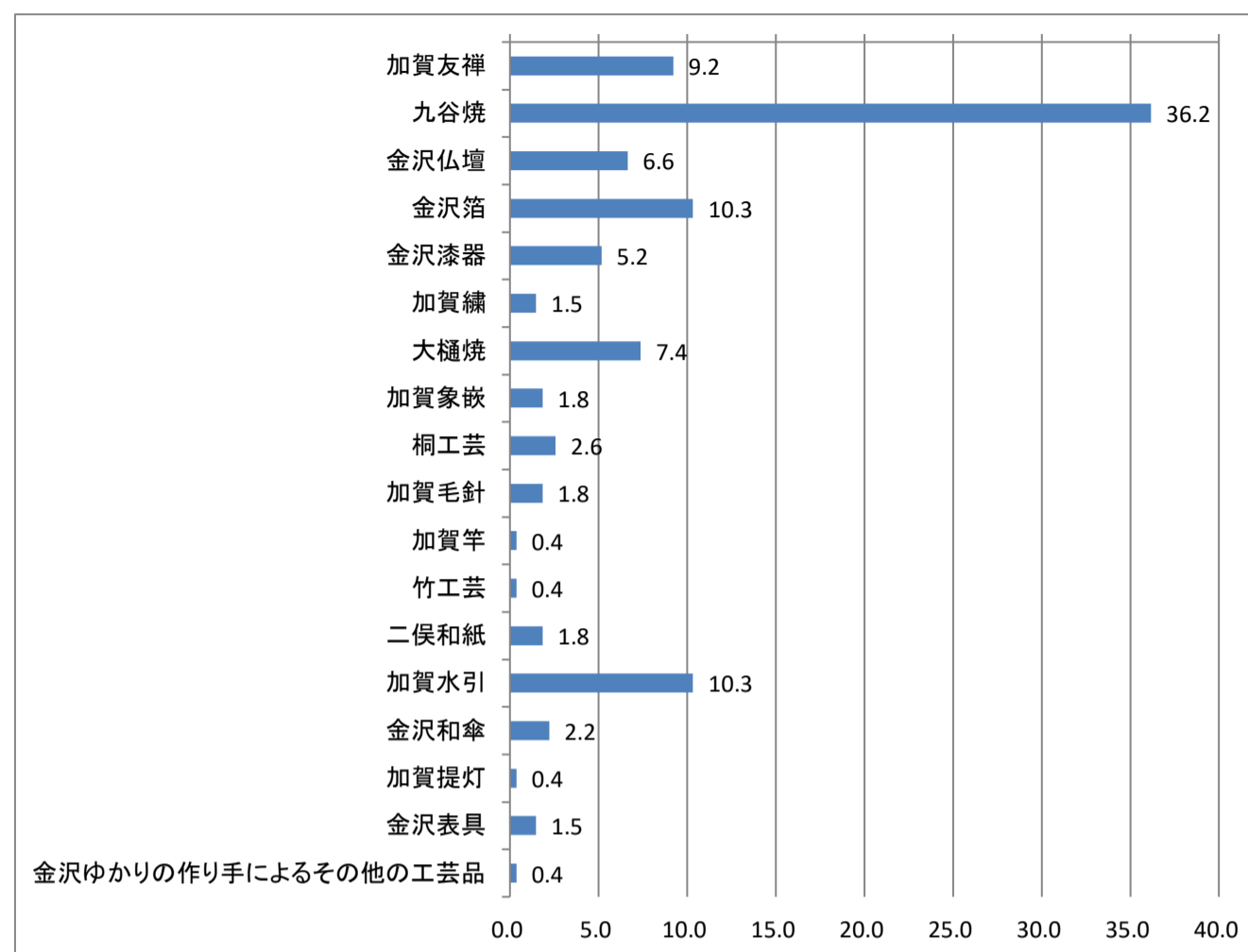
回答	人数	%
使っている	62	33.5
たまに使っている	38	20.5
鑑賞用に展示している	8	4.3
あまり使っていない	22	11.9
全く使っていない	55	29.7



問4 (問3で「使っている」「たまに使っている」と答えた人) 日頃使っている金沢の工芸品はどれですか (複数回答可)

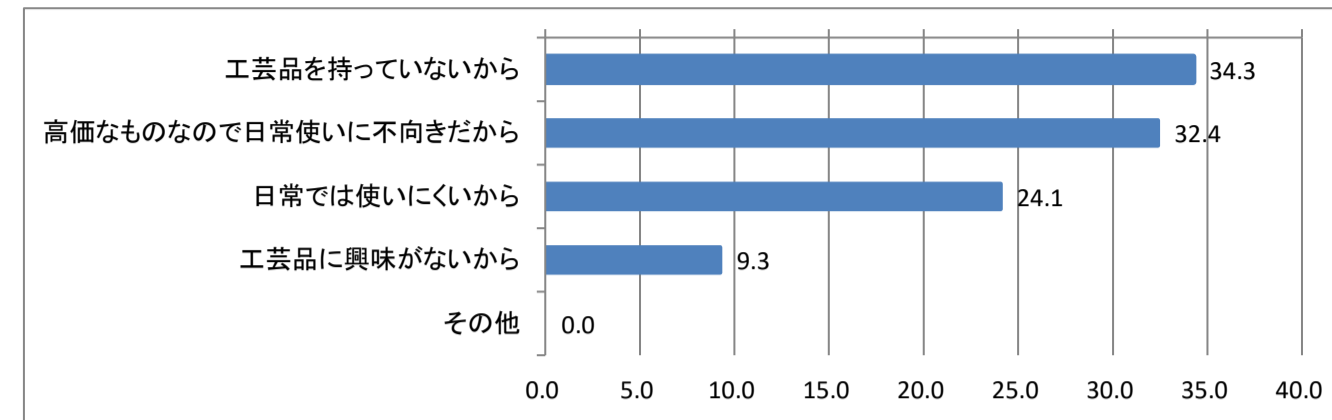
回答	人数	%
加賀友禅	25	9.2
九谷焼	98	36.2
金沢仏壇	18	6.6
金沢箔	28	10.3
金沢漆器	14	5.2
加賀繡	4	1.5
大樋焼	20	7.4
加賀象嵌	5	1.8
桐工芸	7	2.6
加賀毛針	5	1.8
加賀竿	1	0.4
竹工芸	1	0.4
二侯和紙	5	1.8
加賀水引	28	10.3
金沢和傘	6	2.2
加賀提灯	1	0.4
金沢表具	4	1.5
金沢ゆかりの作り手によるその他の	1	0.4

※その他…森下優理 さんや川崎知美さんのコーヒーカップ



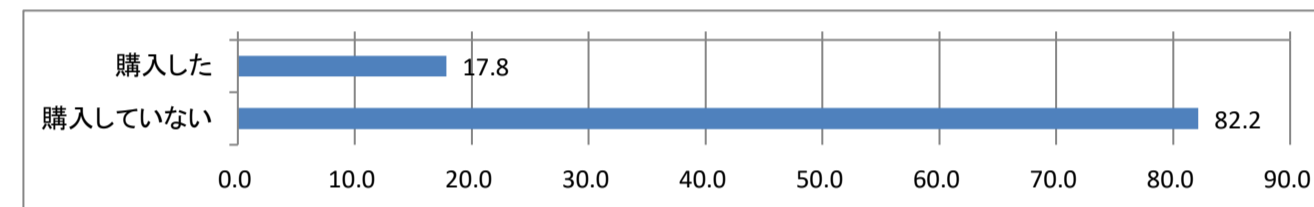
問5 (問3で「あまり使っていない」「全く使っていない」と答えた人) 金沢の工芸品を使わない理由は何ですか(複数回答可)

回答	人数	%
工芸品を持っていないから	37	34.3
高価なものなので日常使いに不向き	35	32.4
日常では使いにくいから	26	24.1
工芸品に興味がないから	10	9.3
その他	0	0.0



問6 この1年間に自分用に金沢の工芸品を購入しましたか

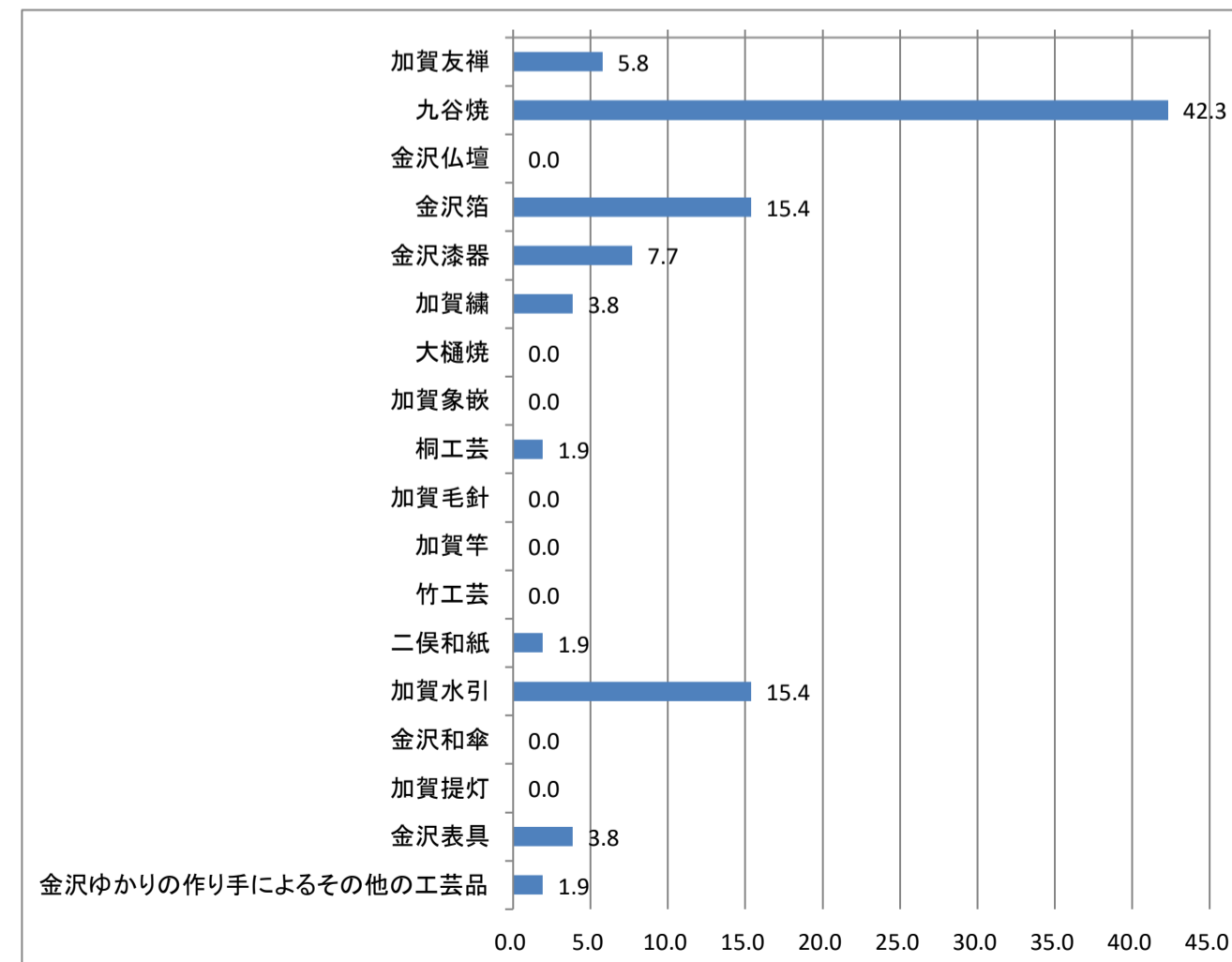
回答	人数	%
購入した	33	17.8
購入していない	152	82.2



問7 (問6で「購入した」と答えた人) 購入した金沢の工芸品はどれですか(複数回答可)

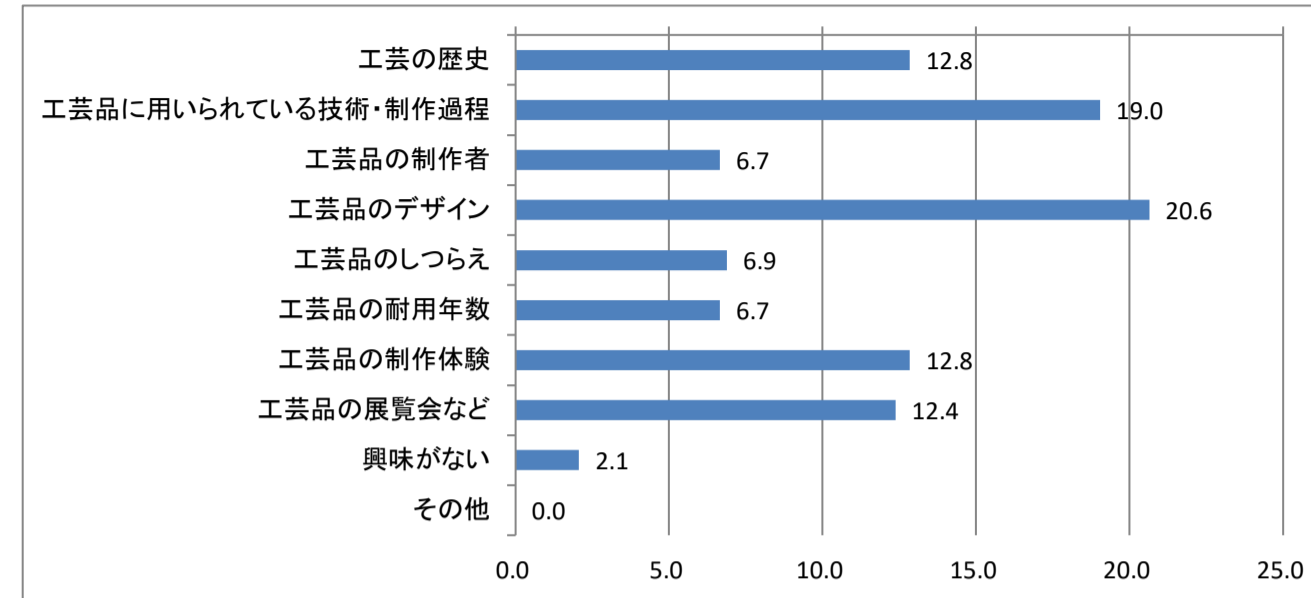
回答	人数	%
加賀友禅	3	5.8
九谷焼	22	42.3
金沢仏壇	0	0.0
金沢箔	8	15.4
金沢漆器	4	7.7
加賀繡	2	3.8
大樋焼	0	0.0
加賀象嵌	0	0.0
桐工芸	1	1.9
加賀毛針	0	0.0
加賀竿	0	0.0
竹工芸	0	0.0
二俣和紙	1	1.9
加賀水引	8	15.4
金沢和傘	0	0.0
加賀提灯	0	0.0
金沢表具	2	3.8
金沢ゆかりの作り手によるその他の	1	1.9

※その他…漆塗りと螺鈿のイヤリング、山の上ギャラリーさんで



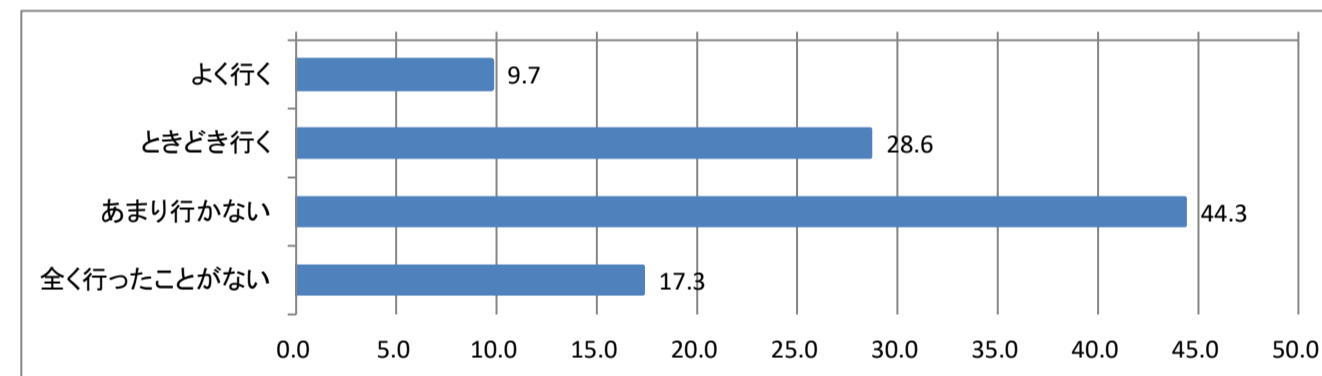
問8 金沢の工芸品について、興味のあるものはどれですか（複数回答可）

回答	人数	%
工芸の歴史	56	12.8
工芸品に用いられている技術・制作	83	19.0
工芸品の制作者	29	6.7
工芸品のデザイン	90	20.6
工芸品のしつらえ	30	6.9
工芸品の耐用年数	29	6.7
工芸品の制作体験	56	12.8
工芸品の展覧会など	54	12.4
興味がない	9	2.1
その他	0	0.0



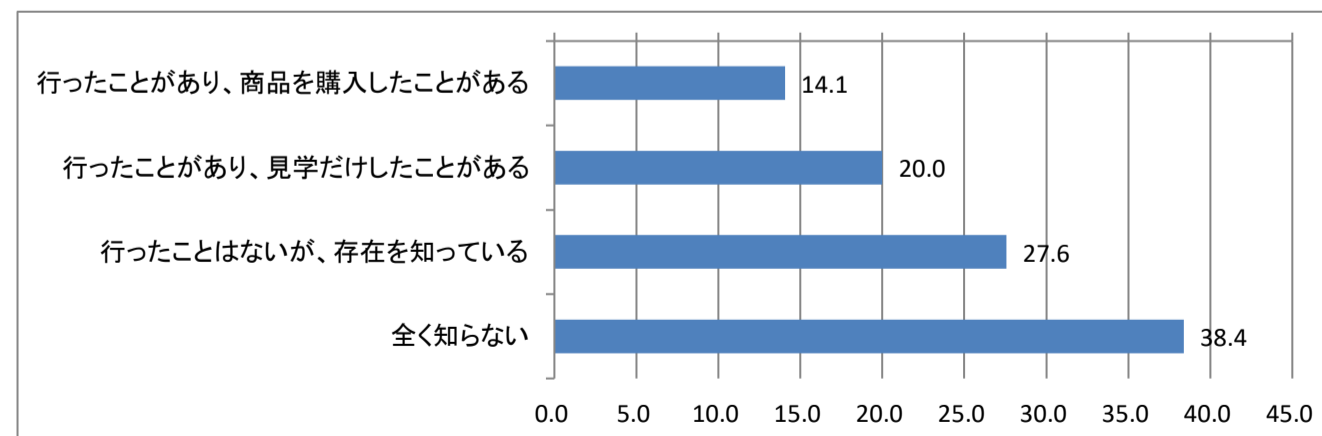
問9 ギャラリーなど工芸品を取り扱うお店に行くことはありますか

回答	人数	%
よく行く	18	9.7
ときどき行く	53	28.6
あまり行かない	82	44.3
全く行ったことがない	32	17.3



問10 「金沢・クラフト広坂」に行ったことはありますか

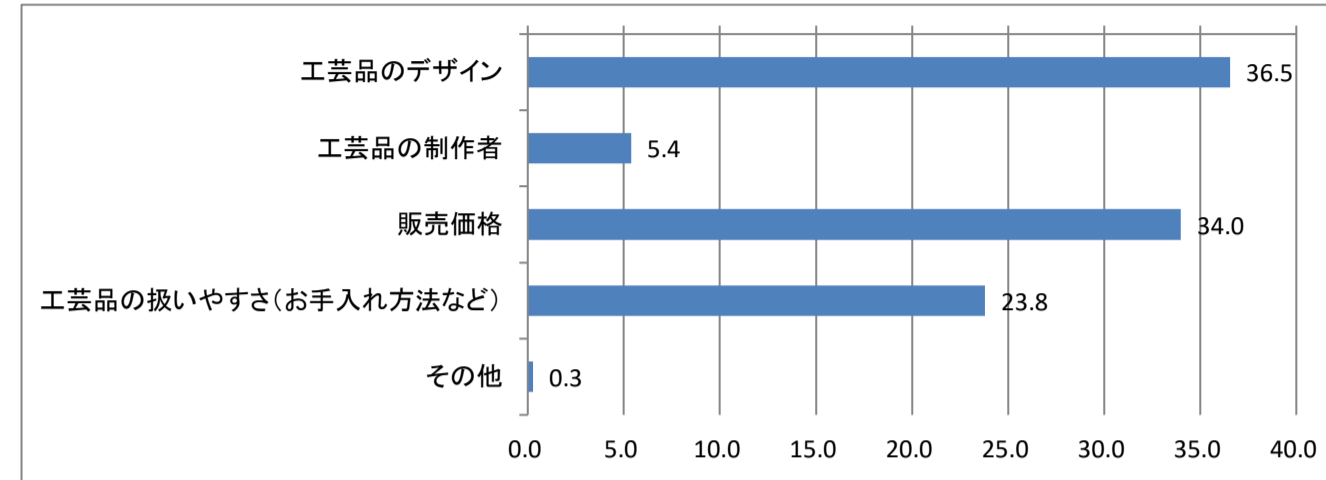
回答	人数	%
行ったことがあり、商品を購入した	26	14.1
行ったことがあり、見学だけしたこ	37	20.0
行ったことはないが、存在を知って	51	27.6
全く知らない	71	38.4



問11 工芸品の購入を検討するとき何を重要視しますか（複数回答可）

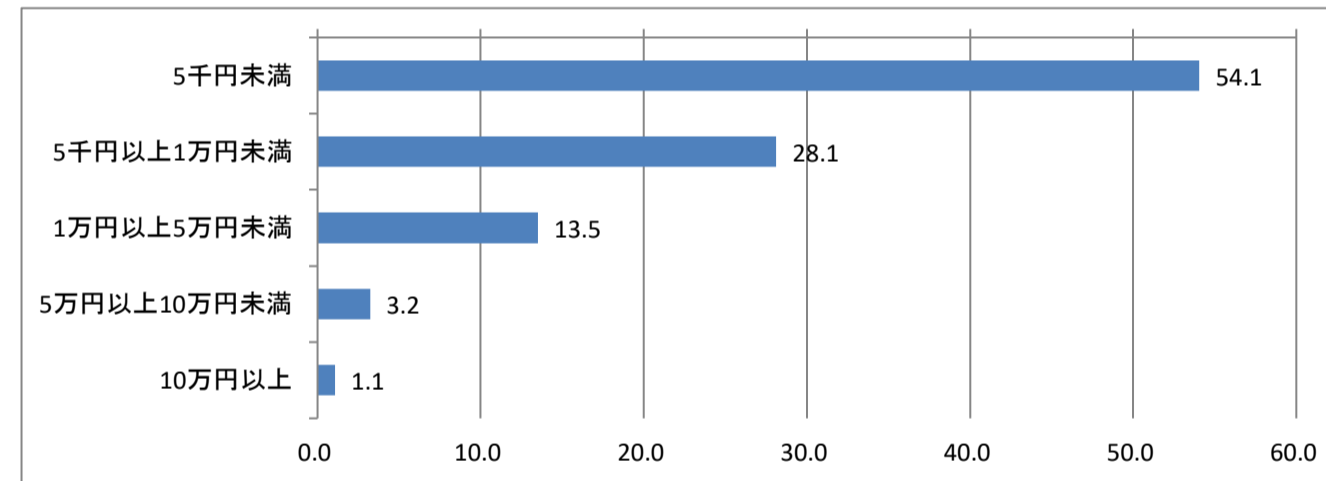
回答	人数	%
工芸品のデザイン	129	36.5
工芸品の制作者	19	5.4
販売価格	120	34.0
工芸品の扱いやすさ（お手入れ方法	84	23.8
その他	1	0.3

※その他…食器類だと、洗い物がしやすいかどうか



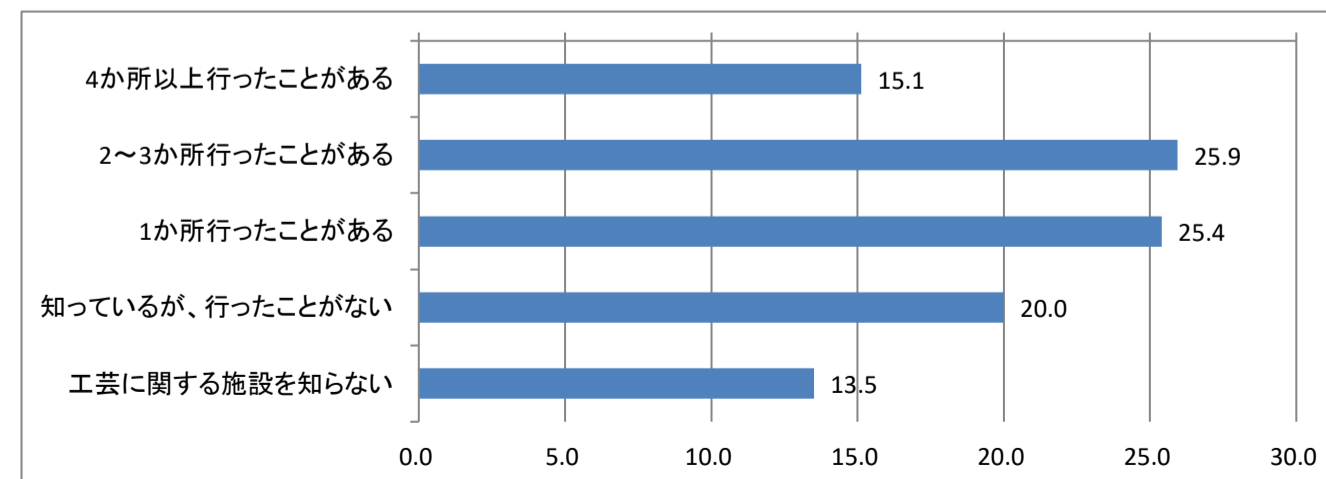
問12 購入を検討する工芸品の価格帯を教えてください

回答	人数	%
5千円未満	100	54.1
5千円以上1万円未満	52	28.1
1万円以上5万円未満	25	13.5
5万円以上10万円未満	6	3.2
10万円以上	2	1.1



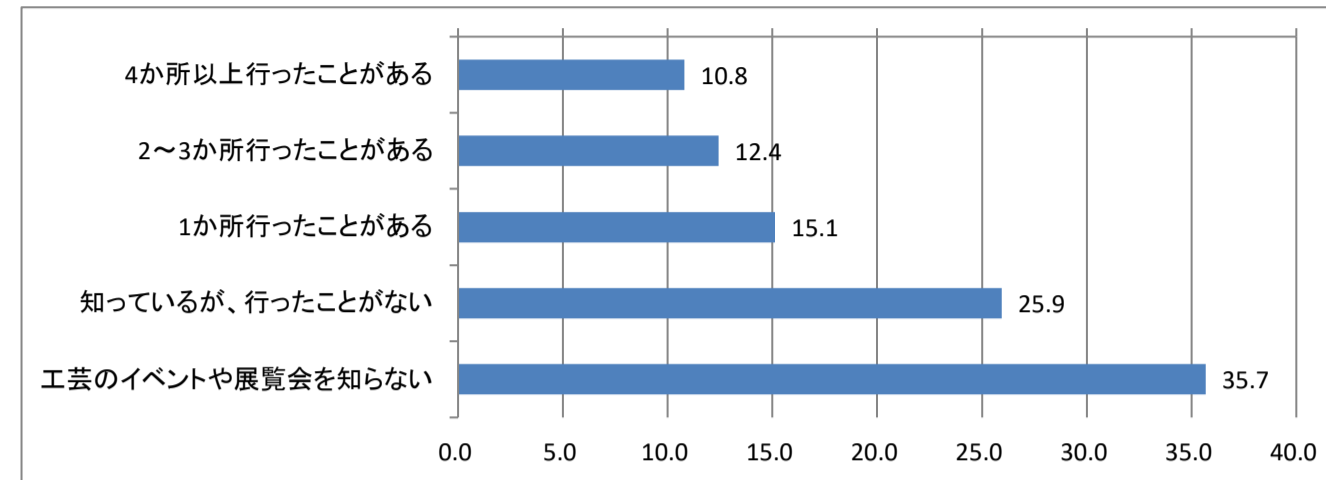
問13 国内の工芸に関する施設（国立工芸館、石川県立伝統産業工芸館、金沢市立安江金箔工芸館など）に行ったことはありますか

回答	人数	%
4か所以上行ったことがある	28	15.1
2～3か所行ったことがある	48	25.9
1か所行ったことがある	47	25.4
知っているが、行ったことがない	37	20.0
工芸に関する施設を知らない	25	13.5



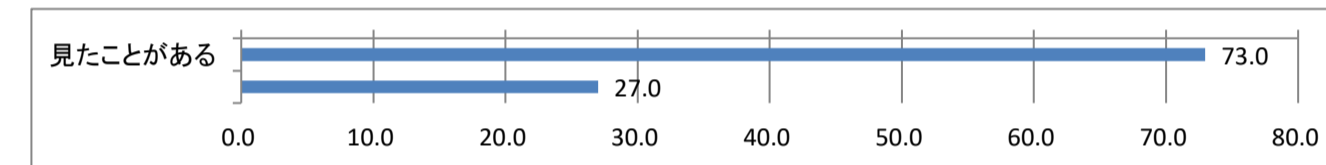
問14 金沢市内で開催されている工芸のイベントや展覧会（KOGEIフェスタ！、金沢21世紀工芸祭、KOGEI Art Fair Kanazawa、金沢市工芸展など）に行ったことはありますか

回答	人数	%
4か所以上行ったことがある	20	10.8
2～3か所行ったことがある	23	12.4
1か所行ったことがある	28	15.1
知っているが、行ったことがない	48	25.9
工芸のイベントや展覧会を知らない	66	35.7



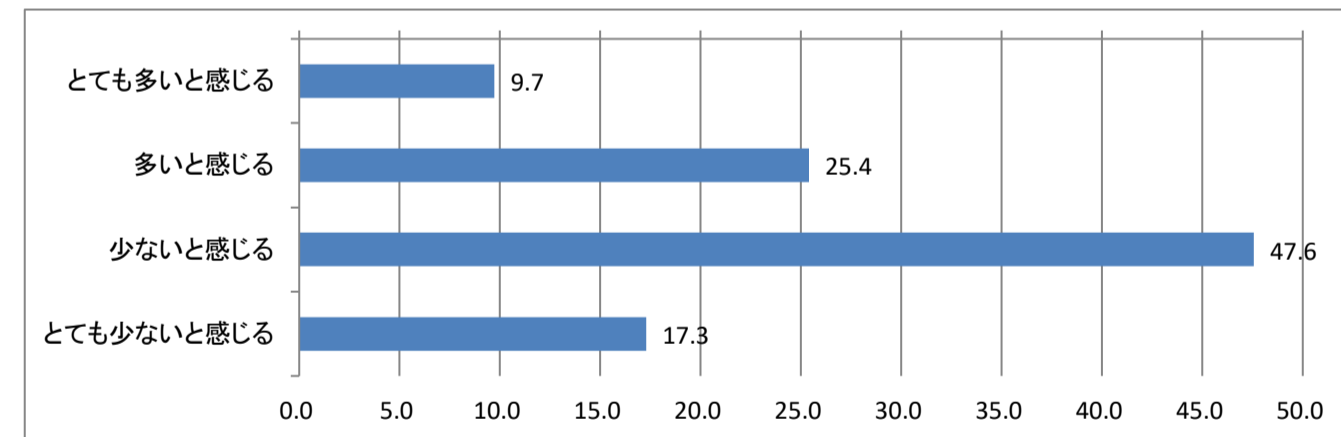
問15 金沢市内の飲食店等で金沢の工芸品が使われているところを見たことがありますか

回答	人数	%
見たことがある	135	73.0
見たことがない	50	27.0



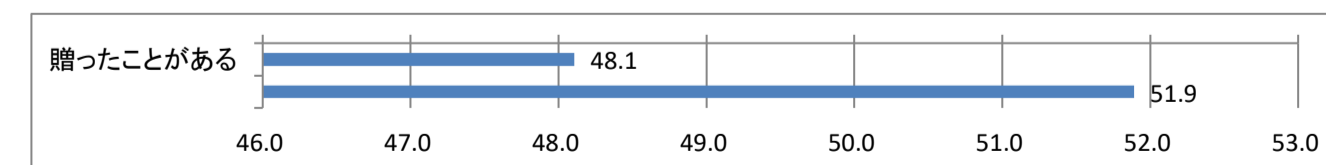
問16 子どもが工芸に触れる機会が多いと思いますか

回答	人数	%
とても多いと感じる	18	9.7
多いと感じる	47	25.4
少ないと感じる	88	47.6
とても少ないと感じる	32	17.3



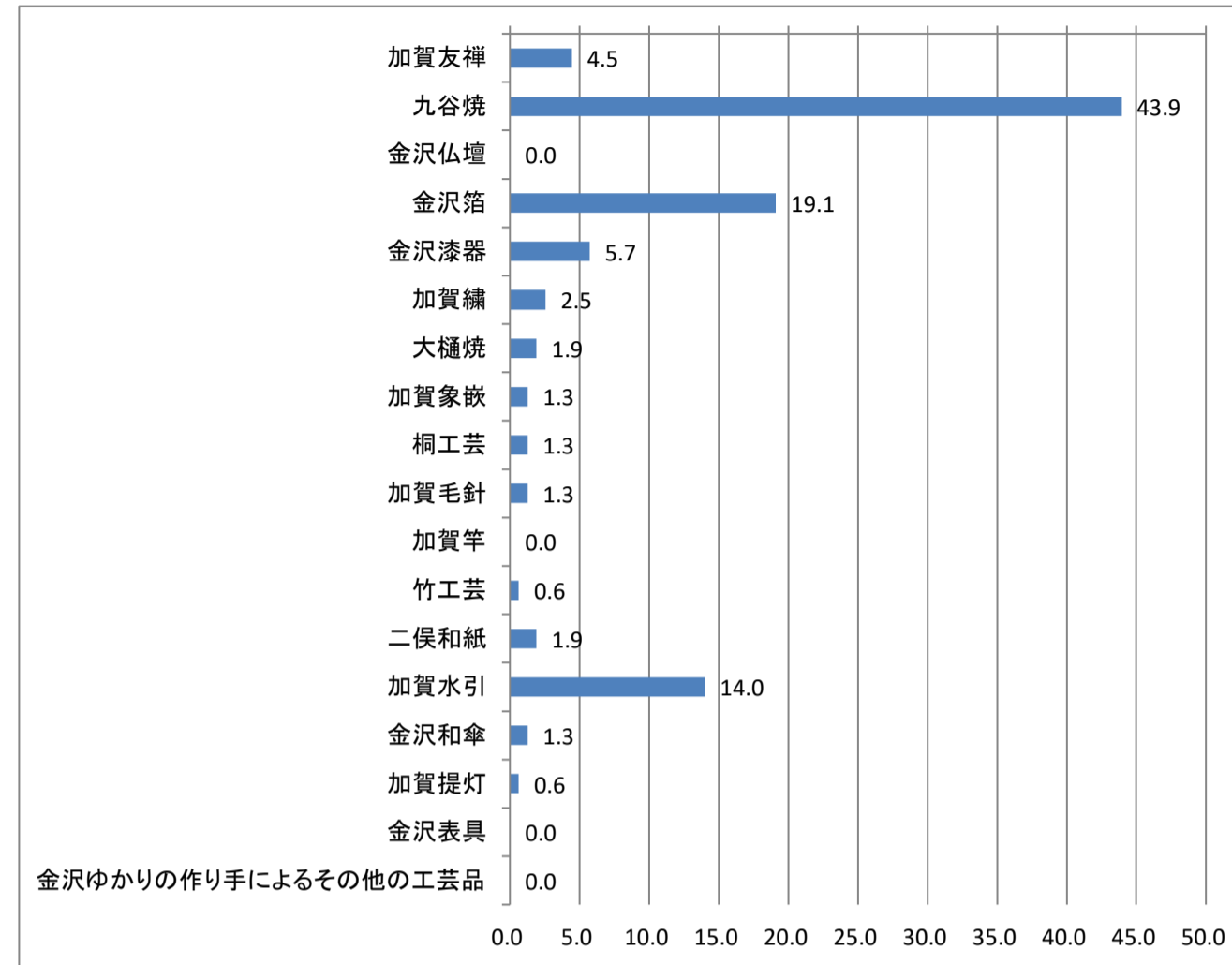
問17 家族や友人などへのプレゼントとして工芸品を贈ったことがありますか

回答	人数	%
贈ったことがある	89	48.1
贈ったことがない	96	51.9



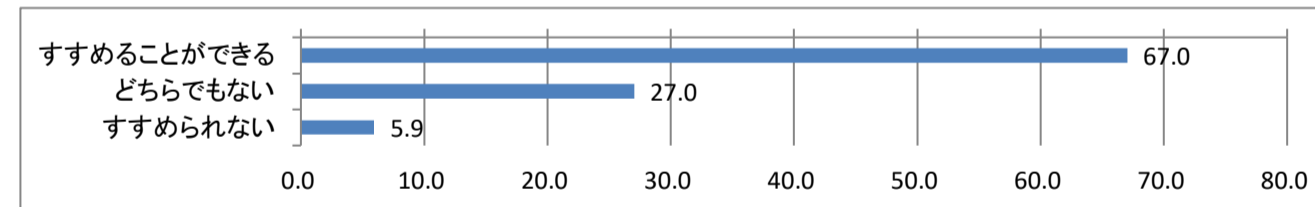
問18 (問17で「贈ったことがある」と答えた人) プレゼントした工芸品はどれですか (複数回答可)

回答	人数	%
加賀友禅	7	4.5
九谷焼	69	43.9
金沢仏壇	0	0.0
金沢箔	30	19.1
金沢漆器	9	5.7
加賀繡	4	2.5
大樋焼	3	1.9
加賀象嵌	2	1.3
桐工芸	2	1.3
加賀毛針	2	1.3
加賀竿	0	0.0
竹工芸	1	0.6
二俣和紙	3	1.9
加賀水引	22	14.0
金沢和傘	2	1.3
加賀提灯	1	0.6
金沢表具	0	0.0
金沢ゆかりの作り手によるその他の	0	0.0



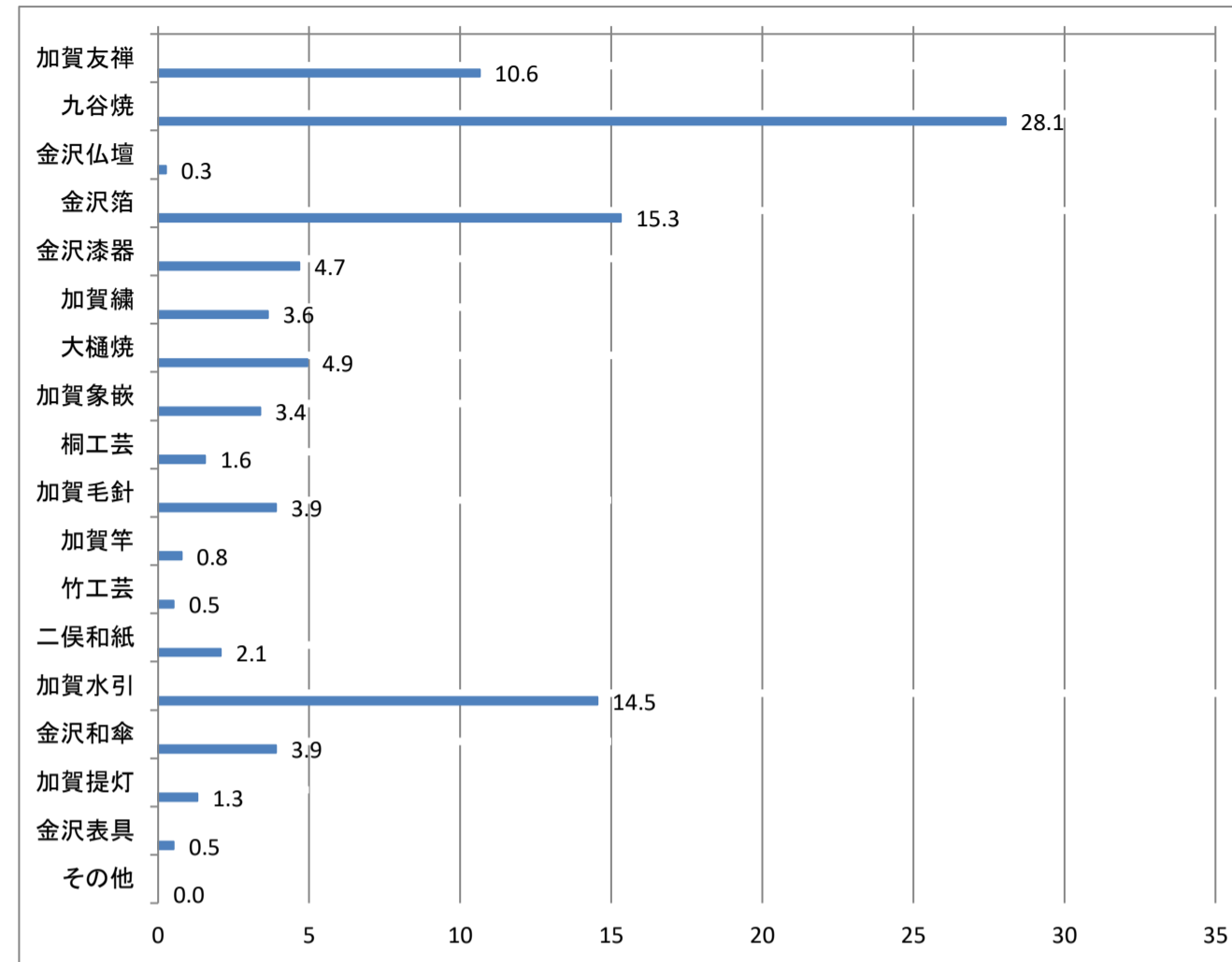
問19 市外の人に、金沢の工芸品の購入をすすめることはできますか

回答	人数	%
すすめることができる	124	67.0
どちらでもない	50	27.0
すすめられない	11	5.9



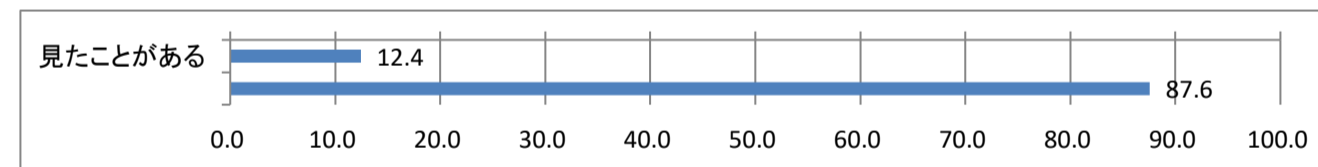
問20 (問19で「すすめることができる」と答えた人) 市外の人に購入をすすめたい工芸品はどれですか (複数回答可)

回答	人数	%
加賀友禅	41	10.6
九谷焼	108	28.1
金沢仏壇	1	0.3
金沢箔	59	15.3
金沢漆器	18	4.7
加賀繡	14	3.6
大樋焼	19	4.9
加賀象嵌	13	3.4
桐工芸	6	1.6
加賀毛針	15	3.9
加賀竿	3	0.8
竹工芸	2	0.5
二俣和紙	8	2.1
加賀水引	56	14.5
金沢和傘	15	3.9
加賀提灯	5	1.3
金沢表具	2	0.5
その他	0	0.0



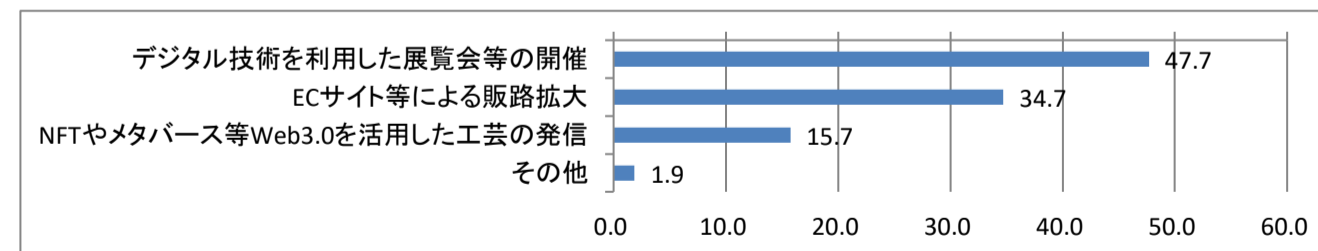
問21 「金沢市デジタル工芸展」のWebサイトを見たことがありますか

回答	人数	%
見たことがある	23	12.4
見たことがない	162	87.6



問22 デジタル技術を工芸分野でどのように活用できると思いますか (複数回答可)

回答	人数	%
デジタル技術を利用した展覧会等の開催	103	47.7
ECサイト等による販路拡大	75	34.7
NFTやメタバース等Web3.0を活用した工芸の発信	34	15.7
その他	4	1.9



※その他…わからない、工芸分野でのデジタル技術利権は排除 職人の名誉と生活を取り戻すのが先

問23 金沢の工芸について、ご意見等がありましたらご自由に記入してください(200字以内)

難しい。
製作者の育成をする。
もっと身近に感じられるように展覧会等をしたら良いと思います。
海外からの観光客にも是非知ってもらいたいです。
もっと広まってくれたらいいなと思います。
製作に大変な手間と時間がかかることはわかりますが、そのために高価になってしまい、なかなか普段使いができません。伝統工芸の技を継承しつつ普段使いできるちょっとした物が色々あれば伝統工芸の普及や訴求につながると思う。
飾だけでなく利用頻度のある物を扱いやすくして欲しい。
ミュージアムショップ等で廉価版かレプリカ版を置いてみてはどうでしょうか。
日常的に使用出来る物とあまり使用頻度が高くない物と工芸の種類で異なるのは仕方ないと思います。現代でも普通に使える物としてデザインや高級志向にとらわれない新しい感覚の作品？の開発は必要です。
石川全体の伝統工芸が盛り上がれば地域それぞれの工芸品が光ってくると思う。
特にありません。
工芸のイベントに参加してみたい。
食洗器や電子レンジなど、工芸品でも使いやすいものがあつたらなおよい。そして身近に買える場所があるとよい。
身近にあったものがだんだん離れていく感じ。
貧富の格差が工芸品の立ち位置を大きく変化させてしまったと思います。
普段から家庭で常時使用するような商品開発が望ましいです。
昨今の住環境、生活環境で必要頻度が少なくなっている工芸品もあるかと思いますが、継承保存とともに時代に即した作品や技術も開発されると良いように思います。
数多くの工芸品があるので普段使いから客への土産品等価格をみながら購入出来ます。
とても素敵なのですが、お値段が高く普段使いにはならない、プレゼントも昔と違いデザインなどその人の趣味に合うかわからないものは送れない。
金沢の工芸品はお土産にすることが多いです。
工芸の良さを知りたい。
視点が合ってるかはわかりませんが、もっと、普段遣い出来る物があれば購買の裾野が広がると思います。
どれも高いというイメージ。
高級な物という印象で、あまり身近ではないところがあります。
応援したい気持ちはありますが、毎日の事に追われるばかりで応援もできません。一市民として発展を願うばかりです。
定年後、数年陶芸教室に通い自作品を友人に提供しましたが、現在辞めています、やはり陶芸品を何かの記念品として使いますね。やはり、自分の好みが左右するものであると思います。工芸品は小さい時から啓発するように指導すれば大人になっても興味を抱き購入やお祝いなどに使うのでは。それぞれの作家さんたちが考えて、継承する人を啓発されれば伝統は継続されると思います。
金沢の工芸品は消耗品ではないため、買い替えるとか買い足すことがなく現在身の回りにあるもので不自由はしていない。
美術館とか訪問したら、工芸品購入補助クーポンとかもらえると工芸品を買ってみようと思います。普段の生活の中に工芸品を使ったり贈ってみたいです。
時代を超えて金沢の工芸がこれからも継承されるように、時代に合わせてデジタル技術の活用やこどもたちへの体験を積極的に行なってほしいです。インバウンドを利用して海外への認知度をもっと上げることが、時代に取り残されない1つの方法ではないかと考えます。
金沢の工芸を作る側の仕事の一部に携わっていますが、時給に計算すると最低賃金を下回ると感じます。職人辛いです。その上仕事は減っていくのだろうと実感しています。
小中学校で更に、金沢の工芸の啓発活動を推進すべきである。
伝統工芸品は自分から遠いと感じている方は少なくないと思います。贈り物でもらうことはあるものの、じゃ使えるかどうか。そのまま倉庫。これではどうなのか。と思います。しかしそうなってしまいます。新進気鋭の作家さんの作品も時折見ます。まず子どもに見せることは重要と思います。小中高と各発展段階に応じて。そして、やはり飲食店での利用ではないかと思います。お店の格に応じて、使える範囲で。
ネット販売等せずに、石川県内での販売を強化してほしい。 いつでも手に入る場合は県内、石川県に来ることでの価値を高めて欲しい。 どこに居ても手に入る=偽物増加や価値の低下を考えて欲しい。
以前、加賀マラソン大会に参加し、参加賞として、漆器をもらいました。イベントで、金沢マラソン大会で、何か選べる実用品を渡したら良いと思います。
工芸品についてほとんど知らない。生活にゆとりが無いため、購入の機会もない。
観光客の来る店ではよく見るが、日頃見る機会がない。
茶釜など、鋳物製品が金沢工芸に入っていないのが不思議です。茶所金沢としては、是非とも「茶釜」は金沢工芸に入れて欲しいです。
工芸をみる機会が少ないのでいろいろな所で見れたら良いと思います。県立美術館をもっと利用したら良いと思います。
体験による市民への周知は大切だと思います。加賀水引などは比較的簡単にできると思いますので、町内会など地域での体験会の開催を金沢市が支援されてはいかがでしょうか。高齢者や子育て中で自宅にこもることが多い若手などの地域でのコミュニケーションのきっかけとして重要と思います。
体験教室をもっと増やしてほしいです。
芸術性は高い。従事者が少なくなっていると思うので、後継者の育成に尽力してほしい。
時代に合わせて変化をさせつつも価値を落とさない。ブランド力を高めることが大事ですね。海外展開すれば爆売れすると思います。
22の質問でECサイトやNFTメタバースとは何かわからない。
素晴らしいものなので他県の人のみならず県民市民レベルから広まれば良いですね。

先日もハイアットさんで開催された工芸展に行きました。アートに触れる機会が私は多いと感じれますが、ギャラリーへ行く壁などを色々な方から聞くので、もっと身近になれば良いなあと思います。色々な取り組みを、いつもありがとうございます。
街中ではなく車で無料で行けるイベントがたくさんあったら行きやすい。
九谷焼祭りを別の時期でも開催して欲しい。
九谷焼は茶碗祭りなどのイベントや、食器屋さんで触れる機会が多く身近に感じる。その他はあまり目にする機会もなく、購入を検討することもほとんどない。
あまり知識が無いのでよくわかりません。
職人さんが少ない工芸品もあると思うので、技術の継承が途切れてしまうことが無いといいなと思っています。
金沢市民への認知度を上げるのは大事。教育などでどんどん触れさせるのは良い事。あと、市民でも気軽に触れられる場があれば認知度がさらに上がると思う。むしろ観光客の方が認知度高いかもしれない。
九谷焼は金沢ではないと思います。
金沢は歴史的にみても「工芸王国」として自慢できる都市であるが、そのネームバリュー・ブランドとしてはまだまだの感がある。例えば「飛騨高山の伝統工芸」は全国的に知れていて、地域ブランドが確立しているが、金沢の工芸は、これらに比してイメージ的に弱いと感じている。これからはもっとPRを強化(人が呼べるイベントの開催など)する必要があると考えます。
もっと身近に感じられるような取り組みをしたらいいと思います。
工芸品にもよりますが、価格が一般人には高価と感じる品が多く購入しにくいです。
工芸品購入を推奨するような商品券の発行を検討していただきたい。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。
今回いただいたご意見は、当制度の次年度以降の運営の参考とさせていただきます。